

高度教養教育科目 単位修得上の注意 (2019年度以降入学者) 第2版

※本揭示は、**2019年度以降入学者**対象です。それ以外の者は確認不要です。

1. 総論

高度教養教育科目は、2019年度開始のカリキュラムで新たに設けられた区分で、**2019年度以降入学者は2年次秋学期以降に2単位の修得**が卒業要件です (**修得しなければ、卒業できません**)。

1年生は、現時点では履修できません。

外国語学部開講科目のほか、全学教育推進機構や他学部の開講科目で修得することもできます。

履修する科目	履修登録方法
下記以外	履修登録期間・手続は、開講部局又は教育企画課教育企画係のKOAN 掲示を確認すること。
外国語学部開講科目	履修登録期間は履修登録案内掲示参照。

外国語学部開講の高度教養教育科目は、以下のとおりです。KOAN 上の開講科目名に「**(高度教養)**」が付されています。

種類	概要
他専攻科目の一部	時間割コードにアルファベットを含むもの。 各専攻が提供する「専攻科目」。
「警察通訳翻訳実務論」 「司法通訳翻訳論」	時間割コードは数字のみ。

2. 変更点 (2022年7月付け)

高度教養教育科目は **2単位以上単位修得しても、超過分を別の区分等の要件単位に算入することは一律不可となっておりましたが、この度、下記のとおり取り扱いを変更しました。**

高度教養教育科目 種別	2単位以上修得した場合の超過分の専門教育系の選択科目への算入可否	
	変更前	変更後
下記以外	×	○
外国語学部開講科目	×	×

変更後は、外国語学部開講科目以外の高度教養教育科目について、2単位以上単位修得した場合、超過分を専門教育系の選択科目に算入することが可能となりました。

なお、この変更に関して手続きは不要です。**過去に修得済みの単位も上表のとおり取り扱います。**

※2019年度・2020年度入学者の学生便覧中「高度教養教育科目」に関する記載内容を修正しています。以下 HP も必ず併せて確認してください。

http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/campus_life/information.html

3. Q&A

よくある質問を以下にまとめます。特に Q3 Q4 にご注意ください。

	Q	A
1	1年生から履修できますか？	できません。 2年次秋学期以降 に履修してください。
2	高度教養教育科目は、学部共通科目のなかの一区分ですか？	違います。高度教養教育科目と学部共通科目は「別々の科目区分」です。前者は教養教育系の区分であり2単位、後者は専門教育系の区分であり6単位の修得が必要です。このあたりの学生便覧の記載を改めているので、以下 URL で確認してください。 http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/campus_life/information.html
3	高度教養教育科目 <u>(外国語学部開講科目)</u> で4単位とったのですが、多くとった2単位分は、学部共通科目の6単位に算入できますか？	算入できません。 <u>外国語学部開講科目については、高度教養教育科目の単位にしかありません。</u>
4	高度教養教育科目 <u>(外国語学部開講以外の科目)</u> で4単位とったのですが、専門教育系の選択科目20単位に算入できますか？	算入できます。 <u>Q4の場合、要件単位数を差し引いた2単位を専門教育系の選択科目に算入できます。</u>
5	KOANのシラバスで、高度教養教育科目かそうでない科目かは、どのようにしたら検索できますか？	「履修登録・登録状況照会」画面で次のとおり判断できます。 ・「時間割コード検索」のボタンを押す。 ・「学部・研究科開講科目」のチェックボックスにチェックし、学部を選択。曜日を「指示なし」、時限を「指示なし」とし、検索開始ボタンを押す。 ・検索結果画面で、「高度教養」欄に○があれば高度教養教育科目、空欄であれば、そうではない科目。 なお、外国語学部開講科目に関しては、冒頭に述べたとおり KOAN 上の科目名で「(高度教養)」を付しています。
6	高度教養教育科目と高度国際性涵養教育科目の違いが判りません。	前者は、教養教育系に属する科目区分で、2単位必要です。 後者は、外国語学部生は国際性涵養教育系の「 兼修語学 」で1単位必要となるものです。 したがって、相互に関係性はありません。